



「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成18年度NO.1)

1. 第15回総会・記念講演会

6月3日(土)、富山市の富山第一ホテルで会員約300名が参加して開催されました。冒頭、あいさつに立った高澤会長は、「美しい地球を守るために個人、家庭、企業のすべてが、ストップ地球温暖化に取り組まなければならない。エネルギーの大量消費型の社会生活を見直し日々の暮らしの中で自然とのかかわりを意識して生活様式の改善を重ねていきたい」と話されました。総会では、平成18年度活動計画案などが承認され、その後、引き続き開催された講演会では、講師に早稲田大学教授吉村作治先生を迎え「エジプト文明からみた地球環境」と題してお話いただきました。終始、ユーモアを交えつつ、スライドなども利用して環境についての考え方を披露していただきました。

<第15回総会>



ご挨拶される高澤会長

<記念講演会>



楽しくご講演いただいた吉村作治先生



満席となった会場は、終始笑い声が響いていました。

2. わいわいトークサロン

今年度のわいわいトークサロンのテーマは、私たちの身近な生活からエネルギー・環境を考えようです。トークサロンでは、環境やエネルギーに関する問題が地球レベルで叫ばれている今、私たちにできる事を一緒に考えています。

8月5日(土)の第1回目は、会員43名が参加しました。ミニ講座では、富山国際大学教授の尾畑納子先生が暮らしに不可欠な水について、講義し、地球規模や地元富山の水環境について取り上げるとともに水のからだに及ぼす影響などを紹介しました。また、「おいしい水」についてミネラルウォーターや水道水を飲み比べたり、硬度を調べる実験などを行いました。その他にも、各テーブル毎に「地球環境を守るために私たちにできることは何か？」をテーマに意見交換を行いました。どうやったら水を汚さないで洗濯できるか、水の使用量を減らせるかなどと活発な意見がたくさんでました。

9月9日(土)の第2回目は、会員43名が参加しました。ミニ講座では、東京理科大学名誉教授の久保寺昭子先生が「暮らしの中の放射線について」をテーマに講義を行いました。米や果物、花などの品種改良、ガーゼやシーツ、その他タイヤなどの車用品にも放射線を利用した製品が数多く使われていて、放射線が私たちの暮らしの中でとても大きな役割を果たしていることを紹介しました。放射線は、管理をしっかりとすれば、いろいろな所で役に立つ、決してコワイものではないと強調されました。参加者は、医療の最前線における放射線利用の話もあってか熱心に質問をしていました。



8 / 5 ご講義いただいた尾畑先生



9 / 9 ご講義いただいた久保寺先生

放射線は、暮らしの中でいろいろなところに使われているのね!

- 第1回 平成18年 8月5日(土)
テーマ:「水再発見! 私たちの暮らしと水の関わりについて」
- 第2回 平成18年 9月9日(土)
テーマ:「暮らしの中の放射線について」
- <予定> 第3回 平成18年10月14日(土)
テーマ:「原子力発電の現状~ウラン燃料のリサイクル~」
「科学工作: 万華鏡を作ろう!」

みなさんも「地球環境のこと」、「エネルギーのこと」一緒に考えてみませんか?



発行元・お問い合わせ先
『環境とエネルギーを考えるとやま女性の会』
(事務局) 北陸電力株式会社 地域広報部エネルギー広報チーム
〒930-8686 富山市牛島町 15-1
TEL076-441-2511(代表)(内線:2631~2635) FAX 076-405-0111



知って、なっ得、でんきのお話 ** 第3話(トピックス編) **

志賀原子力発電所は十分な地震対策を施しています!

日本は、地震の多い国です。志賀原子力発電所では、大きな地震にも耐えることができる設計にするなど、十分な安全性を確保しています。

- ・強固な岩盤を選んでいます。原子炉建屋など重要な建物は、表層地盤を取り除き、1千数百年前の強固な岩盤に直接設置しています。
- ・十分な耐震設計を施しています。原子炉建屋は調査の結果考えられる最大の地震や一般建築物の三倍の地震力に耐えられるよう考慮し、さらに十分な余裕を見込んで設計しています。
- ・大きな揺れを感知すると自動停止します。一定レベル(震度5程度)以上の揺れを感知すると、自動的に制御棒が挿入され、原子炉を安全に停止するしくみにしています。